

平成29年度
子ども大学はにゅう
学習の記録

～子ども大学はにゅう学習の記録～

1日目：9月16日（土曜日）

2日目：10月21日（土曜日）

3日目：11月18日（土曜日）

4日目：12月9日（土曜日）

1日目：2017年9月16日（土） 埼玉純真短期大学

時間	内容	講師	会場
午前 9:00～9:30	入学式		埼玉純真短期大学
午前 9:45～10:30	今日からみんな お友達	金子恵美子先生 (埼玉純真短期大学)	
午前 10:40～11:40	羽生実業高校の 農産物を学習し よう	原口茂久先生 服部真紀子先生 (羽生実業高等学校)	

今年も第7期の「子ども大学はにゅう」が開催されました。

昨年から導入された、サポーター制度。

子ども大学を卒業された中学生が、今度は運営側で小学生のサポートを行うというものです。

今回サポーターを務める、10名の皆さんそれぞれが、実に立派で堂々とした立ち振る舞いです。



●受付

受付を担当するのもサポーターの役目です。

受付開始に伴い、次々にお子さんと親御さんがいらっしゃるなか、一人一人に的確に対応していました。

子どもたちの笑顔からはこれからの学びに対する、ワクワクとドキドキが感じられました。

今回の参加者は、4年生7名、5年生12名、6年生4名の計23名です。



●入学式

いよいよ、第7期子ども大学はにゅうが始まります！

まずは開会のことばとして、埼玉純真短期大学の伊藤道雄先生よりご挨拶をいただきました。

そして、埼玉純真短期大学の学生（1年生）による司会で、進行していきます。

まずは、藤田利久学長（埼玉純真短期大学）、秋本文子副学長（羽生市教育委員会教育長）よりお言葉を頂きました。

これからの学びにつなげ、それぞれの夢や希望に向かって行く上で、欠かせない言葉の数々に、子どもたちの目も真剣そのものです。



●グループの役割決め

今回の子ども大学も、実に多くの小学校から参加をしていただきました。

そのため、「はじめまして」という子も多く、学年も4～6年生とそれぞれです。

最初は緊張した様子でしたが、サポーターの方達がすぐに話しやすい雰囲気を作っていました。あっという間に話し合いが盛り上がり、各グループでリーダー・副リーダー・発表係が次々に決まっていきました。



● 1 限目：「今日からみんなお友達」

第7期子ども大学はにゅう、記念すべき最初の講義は、金子恵美子先生（埼玉純真短期大学）による「今日からみんなお友達」です。

はじめに、誕生日（1月1日→12月31日）の順に輪になって並ぶという活動を行いました。「直接話してはいけない」というルールがあり、ジェスチャーなどを用いて並んでいきます。並び終わった後、順に誕生日を言っていき、答え合わせを行いました。見事1月～12月に並ぶことができました。

また、「船が沈没寸前で、もし無人島に3つまで荷物を持てるとなったら、何を持ち出しますか？」という問いに、みんなで相談しあって、意見が飛び交いました。水やライター、釣り具など必需品である品はもちろん、「カメラ」というユニークな意見もありました。理由を聞くと「なるほど～」と納得。子どもの想像力には本当に驚かされます。



● 2 限目：「羽生実業高校の農産物を学習しよう」

2限目は、羽生実業高等学校の原口茂久先生と服部真紀子先生による「羽生実業高校の農産物を学習しよう」が行われました。

羽生実業高校で育てた、梨、りんご、ブルーベリーなどを用意していただきました。それらを、子どもたち自らが包丁を握り、皮をむいて、切っていきます。初めて包丁を握る子どもも多く、見ている先生や親御さんが、ハラハラ・ドキドキ。心配そうに見つめます。

子どもたちも安全に気をつけながら、無事に果物をカットできました。

そうして、カットできた果物の糖度を図っていきます。実際に糖度計を用いて、果物の糖度を計って行きました。糖度の高い果物は食べてみると、とても甘く、低い果物はとても酸っぱかったです。

数値で計ったものを、自分の舌で感じるという非常に貴重な体験ができました。



2日目：2017年10月21日（土）埼玉純真短期大学

時間	内容	講師	会場
午前9:00～9:40	角帽を作ろう	羽生市青少年相談員 の皆さん	埼玉純真短期大学
午前9:50～10:30	いろいろなリズムで音 楽世界旅行	小澤俊太郎先生 (埼玉純真短期大学)	
午前10:40～11:30	隣の国はどんな国？ フィリピンってこん な国	岩瀬小学校のALT の先生	

●1 限目：「角帽を作ろう」

羽生市青少年相談員の皆様を先生に迎え、「角帽を作ろう」の講座で、修了式にかぶる角帽を手づくりしました。



接着用のボンドやのり、はさみを用いて、頭の大きさに丸めた黒い紙に、黒い天板を貼り付け、さらに飾り房をつけて完成です。自分の頭の大きさに形を整えることに苦戦したり、ボンドがうまくつかなくて苦勞をしている様子も見られましたが、自分用の素敵な角帽ができてあがりました。12月9日（土）の修了式が待ち遠しくなりました。



●2 限目：「いろいろなリズムで音楽世界旅行」

本学の小澤俊太郎先生による「いろいろなリズムで音楽世界旅行」でした。



映像で、「羽生空港」からみんなでインドネシアに飛び立ち、その国のリズム音楽に迎えられ、無事着陸。そして、ピアノや木琴・鉄琴、ハンドベル等様々な楽器担当しての合奏を行いました。日頃聞き慣れたリズムと異なるリズムでしたが、上手に演奏をすることができました。続いて、みんなで飛行機に乗り、今度はアイルランド。そこでも、初めて出会うリズムで力を合わせて合奏を行いました。最後はポーランドへ。ショパンの音楽に触れて自国を愛する気持ちを考えました。いろいろなリズムを習得した音楽世界旅行でした。



● 3 限目：「隣の国はどんな国？ フィリピンってこんな国」

今回の講義は英語で会話が行われます。子どもたちも頭をフル回転させて、一生懸命に英語でコミュニケーションを測ります。

知っている英単語やフレーズを絞り出して、先生・友達と会話をしていました。

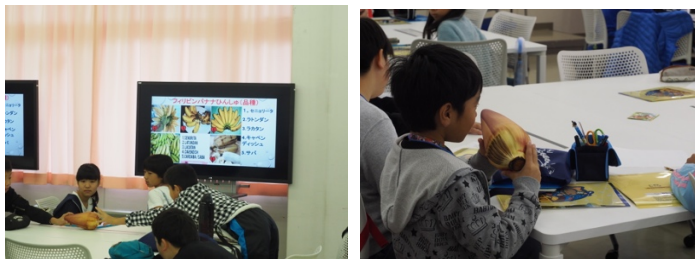


この講義では「フィリピン」について学びました。

バナナの赤ちゃんって？

初めて見るその姿に子どもは驚きの表情です。スーパーで売られている、バナナの種を見せ

てもらい大興奮でした。



フィリピンの伝統的なダンスについて学びました。

これは、竹を使って行われるもので、フィリピンの伝統的な音楽に合わせて軽快にステップを踏みます。大縄跳びのようなタイミングを合わせる技術や、左右の足で交互にステップを刻むのは非常に難しい！しかしさすがは子供達の吸収力。慣れてきた子は軽快にダンスを踊っていました。



3日目：2017年11月18日（土） 建福寺

時間	内容	講師	場所
午前10:00	はにゅうの文化と歴史を知ろう④	羽生山建福寺の皆さん	建福寺



今回は建福寺という羽生駅からほど近いお寺での講義となりました。非常に冷え込む朝でしたが、子どもたちも元気な姿で現れます。



● 1限目：「はにゅうの文化と歴史を知ろう④」

今回は「座禅」と「田舎教師」について学びます。

まず「禅」とは何か、「禅宗」とはということについてお話いただきました。

例えば、「椅子」というものはどうして椅子なのか。「踏み台」にもなるし「机」にもなる。はたまた「凶器」にもなる。

子供たちは今まで考えたこともない考えにとっても驚きの表情でした。

他にも、石と岩の違いは？など、言葉では言い表せないものがこの世の中にはたくさんあり、芸術というのもその一つであるというお話もありました。

このように、「それ」を「それ」とたらしめるものとは何なのか。

これらは物に対してであれば、まだ良いのであるが、人に対してはもっと複雑である。

第一印象や、見た目でこの人は悪い人、良い人などは何をもって判断しているのかという説明に、子どもたちも興味津々。



そのあとには実際に座禅を組んでみて、慣れない姿勢などに少し戸惑いつつも、心を静かに自分の心を見つめているようでした。



次は「田舎教師」の物語について学びました。これは明治42年に田山花袋によって書かれた小説で、作中に登場する林清三は実在した小林秀三です。



この話は建福寺に主人公（清三）を下宿させていたという実話を元に書かれており、ありのままに表現された、のどかな田舎風景とともに展開されていきます。

自分たちの住む「羽生」で繰り広げられる実在したストーリー、当時の風景を文章から想像をし、故郷に対する親しみを深めました。

最後に小林秀三のお墓を見て、資料館を見学。

子ども達にとっても、我々大人たちにとっても、禅と文学に触れることで心を豊かにする一日となりました。

4日目：2017年12月9日（土） 埼玉純真短期大学

時間	内容	講師	会場
午前9:00~10:00	作って遊ぼう・飛ぶ おもちゃに挑戦	加藤房江先生 (埼玉純真短期大学)	埼玉純真短期大学
午前10:10~10:40	学習のまとめ	金子恵美子先生 (埼玉純真短期大学)	
午前10:50~11:30	修了式		

今年の「子ども大学はにゅう」もいよいよ最終日を迎えました。
つい先日入学式が行われたかと感じるほどに、時の流れは早いものです。
今日まで色々な講座がありましたが、子どもたちにとって、多くの学びがあればとても嬉しいことです。

●受付

初日に比べて、サポーターも子どもたちも表情が変わってきました。
サポーターの皆も自主的に動き、子どもたちの講義に向かう表情も少しお兄さん・お姉さんに！



●1限目：「作って遊ぼう・飛ぶおもちゃに挑戦」

加藤房江先生（埼玉純真短期大学）による「作って遊ぼう・飛ぶおもちゃに挑戦」の講義です。

机の上に用意された、材料などはペットボトル、ストロー、ハサミなど。どれもどこの家庭にもありそうなものたちです。

これらの材料を使って弓矢を作っていきます。

キリでペットボトルに穴を開けて、そこにストローを通します。そこに輪ゴムを通して弓の部分を作っていく。



次に矢も作って行きます。それぞれ好きなペンと色で、デザインして行きます。みんな結構凝ったデザインを施しています。個性が詰まった弓矢が完成しました。



では、実際に出来上がった弓矢を飛ばしてみます。結構な飛距離が出てみんな驚きの表情でした。また、矢の長さを長くするとより飛距離がますことを学んだ子もいました。楽しみながら、自ら学ぶ姿勢は素晴らしいものです。

(写真 10) (写真 11)

2 限目：「学習のまとめ」

金子恵美子先生（埼玉純真短期大学）による「4日間の振り返り」です。これまで学んできたことを紙に書いてまとめていきます。



サポーターに仕切ってもらい、班ごとにまとめます。修了式においてそれぞれの班で発表が行われるため、その練習も進めていきます。



●修了式

修了式は入学式と同じ部屋で行われました。

2日目の講義で自分たちが作った角帽を被って、式に臨みます。

埼玉純真短期大学の伊藤道雄先生による開式の言葉で、修了式が始まりました。

次に、班ごとの発表が行われました。人前で話すのがあまり得意でなかった子も、4日間の学びを通して、自信を持って発表する姿にとても大きな成長を感じました。



藤田利久学長（埼玉純真短期大学）、秋本文子副学長（羽生市教育委員会教育長）よりお言葉を頂戴しました。

羽生市には、学びに必要なものが全て揃っていること。そして、それを全力でサポートしてくれる大人たちがいること。今すぐにはなかなか実感できないであろうが、この先学びすすめていく中で、必ずその感謝の気持ちが生まれるのでしょう。



今年も4日間の日程を無事に終えました。

一生懸命取り組んでくれたサポーターの皆さんも充実した顔です。

その中で来年度に向けた課題や改善点の発見がありました。ただそれ以上に、参加してくれた子どもたちが充実した表情で帰ってくれたことが何よりです。



来年はどんな「学び」があるのでしょうか。
来年はどんな「出会い」があるのでしょうか。

以上